

概 要

醫 師

昭和十年末現在ニ於ケル醫師總數ハ721人(内女醫33人)ニシテ、之ヲ前年ニ比スレバ男7人、女4人ヲ各増加セリ而シテ之ヲ經歷別ニ觀レバ、大學卒業181人(25%) 官公私立専門學校卒業 397人(55%) 試験及第 136人(19%) 其他7人(1%)ナリ。

次ニ之ガ分布ノ狀況ヲ觀ルニ、岐阜市149人(21%) 惠那郡59人(8%) 大垣市57人(8%) 稻葉郡57人(8%) 土岐郡48人(7%) 等ハ多キ地方ニ屬シ、山縣郡ノ8人(1%) 最モ少シ、而シテ醫師1人當人口ハ1764人ニシテ、今地方別ニ此ノ狀況ヲ觀ルニ、岐阜市ノ 862人ヲ以テ最モ普及セルモノトシ、之ニ次グハ大垣市ノ 978人、稻葉郡ノ 1600人、大野郡ノ 1650人等ニシテ、最モ稀薄ナルモノハ、山縣郡ノ 3745人ニシテ、可兒郡ノ 2848人、養老郡ノ 2797人等之ニ次グ。

齒科醫師

昭和十年末現在ニ於ケル齒科醫師總數ハ 279人 (内女醫16人) ニシテ、之ヲ前年ニ比スレバ 5人ヲ増加セリ。次ニ之ヲ地方別ニ觀レバ、岐阜市71人最モ多シ、大垣市22人之ニ次ギ、最モ少キハ山縣郡ノ 2人ニシテ、養老郡ノ 5人之ニ亞グ。

藥劑師

昭和十年末現在ニ於ケル藥劑師ハ 327人 (内女43人) ニシテ、之ヲ前年ニ比スレバ31人ヲ増加セリ、之ヲ經歷別ニ觀レバ、大學卒業 3人、官公私立専門學校卒業 175人、試験及第 149人ナリ。更ニ之ヲ地方別ニ觀レバ、岐阜市 100人、大垣市38人、土岐郡37人等主ナルモノトス。

産 婆

昭和十年末現在ノ産婆總數ハ 855人ニシテ前年ニ比シ28人(3%)ヲ増加セリ。之ヲ經歷別ニ觀レバ、試験及第 794人(93%) 指定學校、又ハ講習所卒業17人(2%) 從來開業37人(4%) 限地開業 7人(1%)ナリ。而シテ之ガ分布ノ狀況ハ岐阜署 182人、大垣署88人、多治見署67人等、多キ地方ニ屬シ、最モ少キハ萩原署ノ16人ナリ。

看 護 婦

昭和十年末ニ於ケル看護婦ハ 947人ニシテ、前年ニ比シ92人ヲ増加セリ。

鍼、灸、按摩術、

昭和十年末現在鍼、灸、按摩術者ハ 1,209人ニシテ、内男 347人(29%) 女 862人(71%) ナリ、而シテ晴眼者 452人(37%) ニシテ、盲者ハ 757人(63%)ナリ。

死 亡 者

昭和九年中ノ死亡者ハ、男 13,027人(50%) 女12,921人(50%) 計25,948人ニシテ、前年ニ比シ2,684人(10%)ヲ増加セリ。之ヲ病類別ニ觀レバ、下痢、腸炎及腸潰瘍ニ因ルモノ 3,124人(12%) 最多ヲ占メ、肺炎 2,438人(9%) 腦出血、腦栓塞及腦血栓 2,099人(8%) 先天性弱質 1,946人(7%) 呼吸器結核 1,896人(7%) 等漸次之ニ次ギ主ナルモノナリ。

次ニ之ヲ年齢別ニ觀レバ、0才ヨリ4才マデノ者最モ多ク 9,588人(37%)ニシテ、之ニ次グハ70才以上79才未滿

3139人(12%)、60才以上69才未満2606人(10%)等ナリ。尙0才以上4才未満ノ所謂乳幼児ノ死亡ヲ年齢別ニ示セバ次ノ如シ。

| | 死 亡 者 | 總死亡者ニ對シ |
|----|--------|---------|
| 0才 | 5,614人 | 22% |
| 1才 | 1,883人 | 7% |
| 2才 | 977人 | 4% |
| 3才 | 685人 | 3% |
| 4才 | 429人 | 2% |

傳 染 病

昭和十年中ノ傳染病患者ハ1,530人ニシテ、前年ニ比シ78人(5%)ヲ減少セリ、而シテ之ヲ病類別ニ觀ルトキハ赤痢最モ多ク、610人ニシテ總數ノ40%ヲ占メ、之ニ次グハ腸窒扶斯507人(23%)、實布埤利亞212人(10%)、猩紅熱125人(8%)、バラチブス26人(2%)、痘瘡46人(3%)、腦脊髓膜炎3人ナリ。

更ニ病類別ニ患者100人ニ對スル死亡數ヲ觀ルトキハ次ノ如シ。

| 種 類 | 死 亡 數 |
|-----------|-------|
| 腦 脊 髓 膜 炎 | 67人 |
| 赤 痢 | 60人 |
| ヂ フ テ リ ヤ | 26人 |
| 腸 窒 扶 斯 | 20人 |
| バ ラ チ ブ ス | 12人 |
| 痘 瘡 | 11人 |
| 猩 紅 熱 | 9人 |

即チ腦脊髓膜炎67人最高ヲ占メ、最モ少キハ猩紅熱ノ9人ナリ。

尙本年土岐郡地方ニ發生セシ痘瘡ハ、近時稀ニ見ル猩癩ヲ極メタルモノナリ。